

事業評価調書（新規）

事務所名 (課名)	農林水産部農林水産局 農地整備課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	課長 松浦 猛 (課長補佐兼県営ほ場整備係長 鈴木 敏亮)	内線	4003 (4014)
--------------	---------------------	---------------------	-------------------------------------	----	--------------------

事業種目	用排水路 整備	事業名	事業区間	総事業費	1.6 億円
		経営体育成基盤整備事業	氷上北	内用地補償費	- 億円
所在地			事業採択予定年度	着工予定年度	完成予定年度
丹波市氷上町井中			H18	H18	H20
事業目的			事業内容		
区画形質の改善や水路、農道等の整備を行い、経営感覚に優れた経営体を中心となって優良農地を将来にわたり維持・保全することで食料の安定供給力を向上させ、農業の多面的機能を発揮することを目的とする。			・ 用水路工 2.8km ・ 暗渠排水工 3.6ha ・ 客土工 4.2ha ・ 獣害防止柵 4.8km 負担率[国 50% 県 27.5% 市 10.0% 地元 12.5%]		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性	本地区の用水路は老朽化しており、維持管理と水管理に多大な労力の負担を伴っている。このような状況の中、早急に用水施設の改修を行い、維持管理労力等の節減により、効率的かつ安定的な農業経営を行える組織の育成を図り、地域農業の健全かつ持続的な発展を図る必要がある。 また、湿田や耕土の薄い農地が生育阻害の要因となっているので、暗渠排水や客土を行う必要がある。 猪や鹿による農作物被害があり、獣害防止柵を設置する必要がある。				
(2)有効性・効率性	費用便益比B/C=1.15、所得償還率18.1%であり、事業としての効果が十分に期待できる。 同意率100%(42/42) 担い手への農地集積 0ha (0%) 9.7ha (35.5%)				
(3)環境適合性	地区内の用水路敷を利用してアジサイなどの景観植物を植生するなど、景観に配慮していく。 パイプラインの埋戻材料として、必要な箇所には資源循環のため再生砕石の積極的活用を図る。				
(4)優先性	用水路施設が耐用年数を経過しており、補修管理に苦慮しているため、早急な整備が求められている。 獣害の発生により、営農意欲が薄れつつあることが危惧されるため、早急な整備が求められている。				